

近畿自動車道紀勢線の整備推進 を求める要望書

平成21年4月

和歌山県、和歌山県議会
和歌山県市長会、和歌山県町村会
和歌山県市議会議長会、和歌山県町村議会議長会
和歌山県道路協会
高速自動車国道紀南延長促進議員連盟
国道42号（田辺～新宮）改良促進協議会

近畿自動車道紀勢線の整備推進を求める要望書

半島地域に位置し、幹線道路ネットワークの整備が著しく立ち遅れた和歌山県にとって、紀伊半島を一周する近畿自動車道紀勢線は、企業立地や観光振興、農林水産業の振興など県民の将来のチャンスを保障するものとして、さらに東南海・南海地震への備えや救急医療活動の観点から、早期整備が不可欠である。

しかしながら、これまで高規格幹線道路をはじめとする幹線道路ネットワークは、効率性、採算性の観点から都市部が優先的に整備されてきた。その結果、本県においては、未だ高速道路が繋がっておらず、発展を阻害する要因となっている。

また、本県で供用済みの高速道路は大部分が暫定2車線であり、交通量は全国の暫定2車線区間でもトップクラスとなっており、休日を中心に慢性的な大渋滞が発生し、日常生活や観光、経済活動に支障を及ぼすとともに、対面交通が原因となる死傷事故など重大な交通事故が多数発生している。

さらに、100年に一度の金融危機に端を発する経済の悪化は、地方の疲弊に拍車をかけており、経済活性化のためのさらなる緊急措置が必要である。

については、近畿自動車道紀勢線の整備推進に関し、現在、検討が進められている追加経済対策としても緊急に措置が講じられるよう、また合わせて国土開発幹線自動車道建設会議が早期に開催され、近畿自動車道紀勢線の計画・整備の促進が図られるよう、次の事項について、特段の配慮を強く要望する。

記

- 一、現在の経済状況に鑑み、緊急経済対策として「御坊～田辺間」の整備計画を変更し、4車線化の事業を実施すること。なお、その際、地方の厳しい財政状況に鑑み、地方負担の軽減に配慮すること。
- 一、基本計画区間である「すさみ～那智勝浦間」について、整備計画の策定に向けて、環境影響評価に着手すること。
- 一、予定路線である熊野川河口大橋（仮称）を含む「新宮～県境間」について、基本計画に格上げするとともに環境影響評価を実施し、早期事業化に向けた手続きを推進すること。

平成21年4月 日

和歌山県知事 仁坂吉伸

和歌山県議会議長 大沢広太郎

和歌山県市長会長 真砂充敏

和歌山県町村会長 奥田 貢

和歌山県市議会議長会長 遠藤 富士雄

和歌山県町村議会議長会
会長職務代理者 副会長 美野 勝 男

和歌山県道路協会会長 中村 慎 司

高速自動車国道紀南延長
促進議員連盟 会長 町田 亘

国道42号(田辺～新宮)
改良促進協議会 会長 下川 俊 樹